

イネ縞葉枯ウイルス保毒虫率検定結果について

本年は5月～6月の小麦ほ場におけるヒメトビウンカの発生がきわめて少なく、検定可能な幼虫数を確保できたのが、大野町及び関市の2地点のみでした。検定の結果、イネ縞葉枯ウイルス保毒虫率は大野町が0%、関市が1.0%でした。2地点のみの平均ですが**0.5%（平年 2.9%）**と、平年と比べて低い状況でした。

今後もイネ縞葉枯病の発生予測のため、検定を継続していきます。

表 イネ縞葉枯ウイルス保毒虫検定結果

調査地点	保毒虫率(%)		
	R2	R1	平年
岐阜市又丸	-	0	3.5
神戸町	-	0	3.9
羽島市	-	1.0	0.7
大野町	0	0	2.7
北方町	-	0	4.4
海津町	-	0	2.6
関市	1.0	0	2.3
平均	* 0.5	0.1	2.9

*R2 は、2 地点の平均値

-：未実施

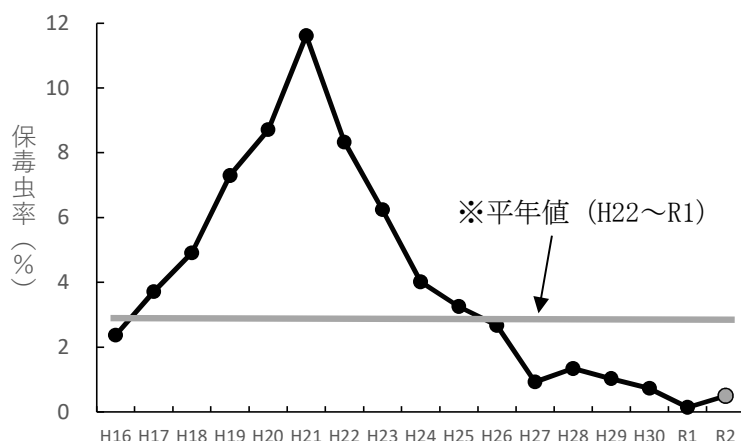


図 イネ縞葉枯ウイルス保毒虫率年次推移

※平年値は直近 10 か年の平均 (H22～R1)

(備考)

- ・簡易 ELISA 法による検定 ※H26 までは高比重ラテックス法による検定
- ・小麦ほ場で採取したヒメトビウンカ幼虫を供試
- ・供試虫採取 令和 2 年 6 月
- ・検定 令和 2 年 1 2 月 8 日～1 2 月 1 1 日

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。

農林水産消費安全技術センター

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

- ・当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。

岐阜県病害虫防除所

<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>